

あゆみ年表 ～ 平成15年 ～

15.6.30 当て逃げロシア貨物船を検挙

礼文島沖合で刺網漁船（9.8トン、2人乗組）の右舷船尾付近に外国船舶が接触し、稚内方向に逃走したとの情報により稚内港内を捜索したところ、船体に擦過痕のあるロシア国籍貨物船P号（234トン）を発見した。乗組員の事情聴取、船体付着の塗膜片鑑定等により同船船長を検挙した。

15.7.4 救命衣着用推進モデル漁協の指定

平成15年4月から6月の間、管内13漁協に対し救命衣着用100%を推進するため、職員による「救命衣着用実態調査」を実施し、7月4日着用率が高い宗谷・猿払村・枝幸・頓別・稚内・天塩の各漁協を「救命衣着用推進モデル漁協」に指定した。

15.7.8 高粘度油対応油回収装置（LSC）を使用した油防除訓練

稚内港沖合で「高粘度油対応油回収装置（ローリーサイドコレクター通称LSC）」を取り付けた巡視船による油防除訓練を実施した。本装置は、ムース状に変化した粘性の高い油をオイルフェンス等で集積し、ブラシの付いた回転コンベアですくい取り、付属バージに回収するというものであり、全国の海上保安部署に10式、このうち道内には稚内と紋別にサハリンプロジェクト対応として2式が配備されている。



15.9.25 10年振り、日ロ洋上会談の開催

宗谷岬北方海上で、ロシア連邦保安庁太平洋地域国境警備局サハリン国境警備隊との洋上会談が巡視船しらかみ船内で行われた。同会談は10年振りの2回目で、相互の連絡・協力体制を確認するなど、新たな友好関係の構築を図った。



15.10.1 稚内海上保安部昇格50周年記念式典における表彰

稚内サンホテルにおいて「稚内海上保安部昇格50周年記念式典」を開催、海上保安業務に支援、協力のあった方に、稚内海上保安部長から感謝状を授与した。

団体の部（6団体）

稚内西小中学校、猿払村漁業協同組合、杓形漁業協同組合
頓別漁業協同組合、鴛泊漁業協同組合、枝幸漁業協同組合
個人の部（11個人）

海上保安友の会稚内支部会長、同支部役員10名



15.11.10 稚内港内で不発弾の発見

稚内港北洋ふ頭北防波堤灯台から東北東約200m付近海域で、浚渫工事作業中の土砂の中から砲弾1発が発見され、船舶航行の安全のため付近海域を航泊禁止措置（稚内港長）とした。同砲弾は、陸上自衛隊第二師団（旭川）により処理された。

15.11.13 いか釣り漁船火災事故・乗組員3名救助

礼文島北方海域で、いか釣り漁船（17トン、3人乗組）が機関室からの出火により船体延焼、乗組員3名は近くにいた僚船に救助された。巡視船しらかみが現場急行し消火活動を実施したが同船は沈没した。



15.12.18 貨物船と装い入港したロシア漁船を強制退去

稚内港に入港したロシア国籍貨物船（284トン、16人乗組）の立入検査を実施したところ、同船前部甲板下等に隠匿されたラインホーラー等の漁労設備を発見した。同船は、水産庁により漁船と認定され、日本へ寄港させるための大臣許可等もなかったことから強制退去とした。